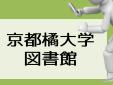
データベースマニュアル(2022.4)

PubMed[パブメド]中・上級編



[PubMed]は、NLM(米国国立医学図書館: National Library of Medicine)内の、NCBI(国立生物科学情報センター: National Center for Biotechnology Information)が作成している医学系最大のデータベースです。

原則フリーアクセスですが、【文献検索/電子コンテンツ】からの利用すると、≪京都橘大学版 PubMed≫になります。

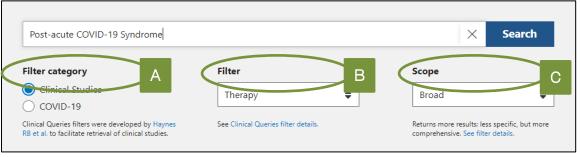
1946年以降の医学論文+電子ブックから、雑誌・約5,700タイトル、論文・約2,800万件(毎日 2,000-4,000件追加)のデータが登録されています。

また、日本語記述の雑誌は約68タイトル、日本で発行されている雑誌として、約160タイトルを含んでいます。

絞込み検索の方法① ~Clinical Queries を使う



- ★【Clinical Queries】は、エビデンスの高い論文を短時間で検索できるツールです。
- ① 【Clinical Queries】をクリックします。
- ② 検索ボックスにキーワードを入力します。
 ※事例では、"Post-acute COVID-19 Syndrome (新型コロナウイルス感染症後遺症)"とします。
- ③ さらに3つの条件選択を利用することで、さらに絞り込んで文献をヒットさせることができます。



A:カテゴリーの選択(Fillter caregory)

- Clinical Studies (臨床)
- COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)

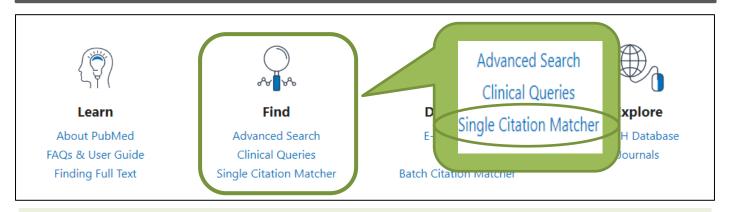
B:フィルターの選択(Fillter)

- Therapy(治療)
- Clinical prediction guides(臨床予見指針)
- Diagnosis(診断)
- Etiology(病因)
- Prognosis(予後)

C: 感度の選択(Scope)

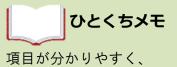
- Broad (幅広く)
- Narrow (ノイズ少なめ)

絞込み検索の方法② ~Single Citation Matcher を使う



- ★【Single Citation Matcher】は、いくつかの文献情報が判明しているところ(不完全な情報)から検索できるツールです。
- ① 【Single Citation Matcher】をクリックします。
- ② それぞれの検索ボックスに、判明している情報を入力します。



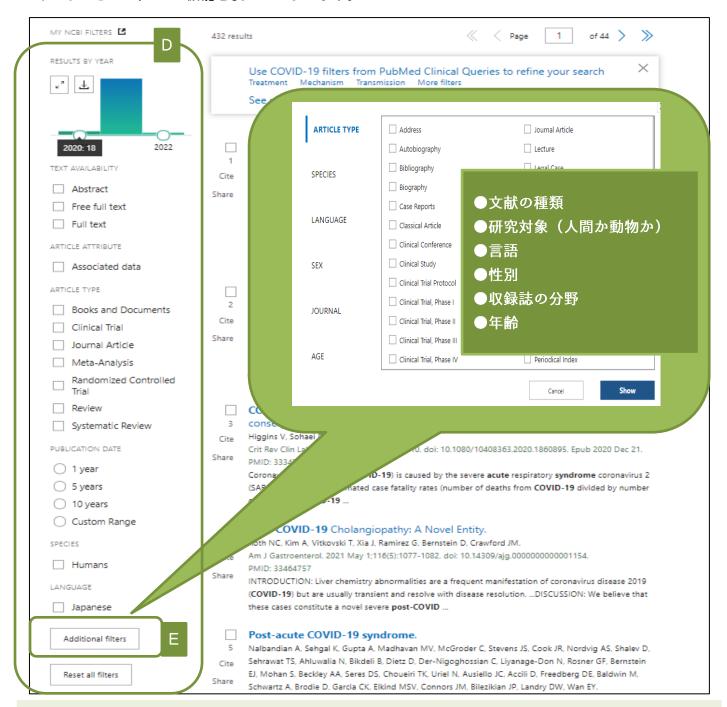


項目が分かりやすく、 入力が容易なので、おススメ です。

絞込み検索の方法③ ~Filter を使う

絞込み検索の方法①②を利用し、最初から絞り込む方式もありますが、まずは広く検索をしてから条件を 追加することで絞り込みたい、ということもあるでしょう。

そんなときには、Filter機能を使ってみましょう。

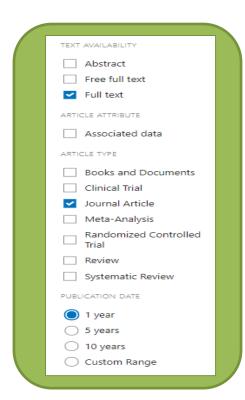


- ※事例では、「Post-acute COVID-19 Syndrome (新型コロナウイルス感染症後遺症)」としています。
- ③ D: 絞込みフィルター
- 4 | E | : Additional filters

クリックすると、絞込むための条件が全て表示されます。

絞込み条件に必要と思う事項に☑を入れ、Show ボタンをクリックすれば、

|D|: 絞込みフィルターに追加されます。



- ③ 例えば、以下のような条件で絞り込んでみましょう。
 - テキストタイプ:「Full text」(全文公開)
 - 論文の種類:「Journal Article」(雑誌論文)
 - 出版時期:過去1年
- ★ ちなみにこの 3 つの項目の条件設定により、2021.12 現在、 キーワード: Post-acute COVID-19 Syndrome で 432 件 あった文献が、329 まで減り、一定の絞込みに成功して います。

便利な機能 ~MeSH 用語を使う

MeSH 用語とは・・・PubMed で用いられている統制語用語集(シソーラス)のことです。

Medical Subject Headings(医学主題見出)の略称で、同じ概念を持つ用語
について、"この言葉で表現しよう"と決めた用語です。

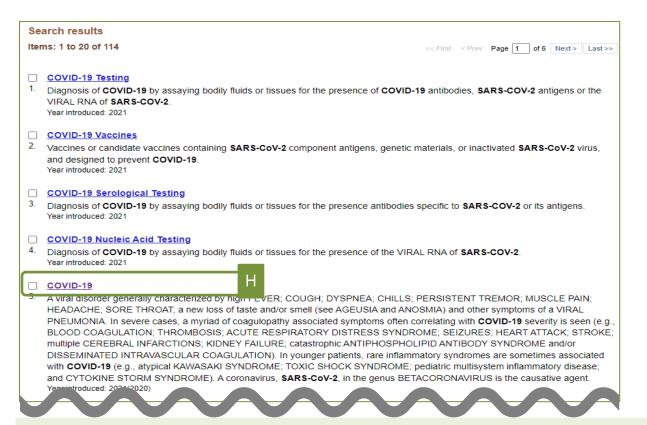
PubMed では、入力されたキーワードをもとに、最適な検索結果になるよう、MeSH 語によって適切な検索語が付与される自動マッピング機能を採用しています。



G: キーワードを入力します。

※事例では、"CIVID-19 (新型コロナウイルス感染症)"とします。





② H: をクリックすると、詳細情報を見ることができます。



便利な機能 ~MeSH 用語から論文検索をする

※事例では、「COVID-19(新型コロナウイスル感染症)」の「diagnosis(診断)」に関する論文を さがします。

Full →		Send to: ▼			
			PubMed Search Builder	•	
COVID-19			"COVID-19/diagnosis"[Mes	h]	
THROAT; a new loss of taste and/o coagulopathy associated symptom RESPIRATORY DISTRESS SYND	rized by high FEVER; COUGH; DYSPNEA; CHILLS; PERSI or smell (see AGEUSIA and ANOSMIA) and other symptoms as often correlating with COVID-19 severity is seen (e.g., BL PROME; SEIZURES; HEART ATTACK; STROKE; multiple O DANTIBODY SYNDROME and/or DISSEMBLY "COVID-19/diagnosis" [Mesh]	s of a VIRAL PNEUMONIA In cases, a myriad of OOD COAGUL		You Tube Tutorial	
<u> </u>			Clinical Queries		
□analysis	enzymology	pathology			
anatomy and histology	epidemiology	physiology	NLM MeSH Browser		
blood	ethnology	physiopathology			
cerebrospinal fluid	etiology	prevention and control	Recent Activity	•	
chemically induced	genetics	psychology	Recent Activity	Turn Off Clear	
classification	history	radiotherapy	同 COVID-19	<u></u>	
complications	immunology	rehabilitation statistics and numerical data	D 001/19	MeSH	
✓diagnosis	☐ legislation and jurisprudence☐ metabolism	_	Q CIVID-19 (1490)		
☐ diagnostic imaging	□ microbiology	□ surgery □ therapy	Q 01V1D=13 (1430)	MeSH	
 ① G: MeSHの検索ボックスに「CIVID-19」と入力し、検索を行います。 ② P: Sub headings[サブヘディングス]の中から、「diagnosis (診断)」を選択し、☑を入れます。 ③ Q: 右手にある、 Add to search builder をクリックします。 すると、すぐ上部の「PubMed Search Builder」に検索式が表示されます。 					
④ R: さらに Search PubMed をクリックします。					

便利な機能 ~MeSH のメリット/デメリット

MeSHをつかった文献検索結果が表示されます。

MeSHのメリット	MeSHのデメリット	
■ テーマに合致した文献を確実に拾う	■ 新しい文献には、MeSH用語が	
ことができる。	付与されていない場合がある。	
■ ノイズ(関係のない文献)を減らす	■ 固有名詞や医学用語ではない用語は	
ことができる。	MeSHにない場合がある。	

知っておくと便利な検索結果の説明● ~Preprint

"preprint" (プレプリント) は、査読前、或いは学術雑誌掲載前の予稿とされるものです。

何より速報性を重視したものになるため、その分、科学的知見としての正確さや有用性等については 評価が確定しているものではないことになります。

利用する際は十分留意するようにしてください。

"Preprint"を除いて検索するには、キーワードの最後に"NOT preprint[pt]"と入力するとよいでしょう。

知っておくと便利な検索結果の説明② ~Author Manuscript

"Author Manuscript" (オーサー マニュスクリプト)、直訳すると"著者論文"ということになります。

そもそも、この**"Author Manuscript"**の表示がある論文のほとんどは、アメリカの国立医学図書館 (NLM) 内にある国立生物工学情報センター (NCBI) が作成運用する、無料のジャーナルのオンライン 論文アーカイブ【PMC】にアップされたものになります。

2021年1月現在、検索できる"Author Manuscript"の論文数は76万を超えています。

では、何故【PubMed】で検索すると【PMC】に収録された論文がヒットするのでしょうか。 【PMC】も【PubMed】も運営母体が同じ、アメリカの国立医学図書館(NLM)だからです。

元々、【PMC】は【PubMed Central】と呼ばれていましたが、混同を避けるため名称変更した経緯があります。

論文が【PMC】に収載される最大のメリットは、多くの生物医学・生命科学分野の研究者が参照する【PubMed】での検索に連動、ヒットするようになっているからにほかなりません。

また、アブストラクトと書誌情報だけでなく、論文の全文が掲載されるのも【PMC】ならではのメリットと言えます。

【PMC】に収録される論文は、確かに論文著者が提出したものですが、Journal Articleと区別されるのは何故なのでしょう。

まず、**"Author Manuscript"**が【PMC】に収録されるためには、いくつかの条件を満たしている必要があります。

- A) 雑誌に論文が掲載されることが確定、査読もクリアしていること
- B) 掲載される雑誌は、あらかじめ【PMC】が契約認定しているものに限ること

しかし、雑誌出版社からの提供ではなく、論文著者からの直接提供の場合は、最終的に雑誌に掲載される 形態と若干異なる可能性があります。

例えば、雑誌に掲載時に編集調整が入り文体が変更されることで掲載ページが変わってしまうなどです。 そのため、**"Author Manuscript"**とJournal Articleは区別されているのです。 【PMC】における著者論文には、全文が公開された日付と、公開された雑誌情報も含まれ、可能な限り、 論文の最終編集バージョンにリンクできるよう配慮されています。

論文に論文固有の識別子(DOI)が含まれている場合、掲載雑誌のWebサイトの掲載論文バージョンの全文に直接ハイパーリンクされます。

利用可能な場合は、雑誌のWebサイトへのリンクも著者情報の下に含まれるようになっています。 すべての著者論文には、対応するPMC-ID、NIHMS-ID(または他の原稿ID)、及びPM-IDが右上隅に含まれているはずです。

尚、**"Author Manuscript"**論文を参考文献や引用文献として利用される場合は、論文固有の識別子DOIと論文の状態(**"Author Manuscript"**であるということ)を明記してください。

また、論文の最終更新日や、実際にてアクセスして論文を閲覧した日も記載しましょう。

但し、最終版として雑誌に掲載された論文を入手できる状況であれば、**"Author Manuscript"**を利用しなくてもよいでしょう。

知っておくと便利な検索結果の説明② ~Epub ahead of print

"Epub ahead of print" (イーパブ アヘッド オブ プリント) とは、冊子体に掲載される前に、オンライン版で先に発表されている論文のことです。

そのため巻号や掲載ページがまだ決まっておらず、表記されていません。

数週間〜数ヶ月後に冊子に掲載されることが多いと言われていますが、長期間掲載されない場合もあるので注意が必要です。